

01. 科目名 (単位数)	人体の構造と機能及び疾病 (2単位)	3. 科目番号	GELA1112 GELA1333 GELA1312
2. 授業担当教員	阿部 又一郎		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	※特になければ、何も書かないでください。		
7. 講義概要	<p>この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質 (QOL) を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 2. 健康・疾病の捉え方について理解する。 3. 人の身体構造と心身機能について理解する。 4. 疾病や障害の成り立ちおよび回復過程について理解する。 5. 公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	教科書の「第3章の各疾患」「第4章の各障害、リハビリテーション、公衆衛生 (健康増進・保健医療対策)」について、教官が各学生に割り当てた箇所を各自調べて、全員が順番に各授業で発表して頂く (発表)。また、新聞等のマスメディアに出てきた疾患に関するニュースの中から興味を持ったものを1つ選び、福祉、養護、保健、保育、心理などのそれぞれの立場から、支援をどう構築すればよいか検討を加える (レポート)。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身の機能と身体構造を自分の体と日常生活に照らし合わせてできるようになったか。 2. 生活習慣病の理解と予防を考察できるようになったか。 3. 少子高齢社会におけるリハビリテーションを理解し、必要性を説明できるようになったか。 4. 厚労省が推進する高齢者のQOLの基本的な考えを理解できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度や学習状況、レポート、期末テスト等を総合して評価する。授業への参加度 30%、レポート 30%、期末テスト 20%、発表能力 20%]</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>少子高齢社会において、養護、保健、福祉専門職者は無論のこと、また教育、保育や臨床心理専門職者においても、保健・医療専門職者等と連携して地域社会の人々が健康で質の高い豊かな生活を送れるように支援することが求められます。そのためには、健康をむしばみ、生活の質を低下させる病気、特に生活習慣病・メタボリックシンドローム、高齢者特有の疾患及び精神疾患などの知識を自ら学び取る必要があります。メディアが報じるニュースの中でも日常的に取り上げられているので、将来の専門職者の立場からの問題を自ら発見し、自ら解決する目で見るとしていきましょう。</p> <p>現場にあっては、ヘルスケアプロフェッショナルチームの一員としての能力を開発する練習を授業でのグループディスカッション及びレポート作成・発表を通して出来る様にしましょう。又、ターミナルケアや健康寿命と介護予防の問題にも目を向けられるようになります。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業で通知		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 人の身体と精神の成長・発達及び老化	事前学習	学習ノートを準備し、シラバスを熟読してくる。
		事後学習	教科書の人の身体と精神の成長・発達を身体と精神に分けてノートにまとめる。
第2回	人体部位の名称と各臓器の構造及び機能	事前学習	人体部位と骨の名称をノートに記載しておく。
		事後学習	心臓、腎臓、呼吸器、大脳をノートに図示し、それぞれの機能を5行以内で記載する。
第3回	疾病の概要 脳血管循環器系統	事前学習	教科書の生活習慣病とその予防をノートにまとめておく。
		事後学習	教科書の悪性腫瘍、脳血管障害、心疾患、高血圧について、各5行でまとめ発表出来る様にしておく。
第4回	内分泌系、呼吸器系統	事前学習	内分泌とは？ノートに調べておく。
		事後学習	糖尿病と慢性閉塞性肺疾患との類似点について、400字にまとめて提出する。
第5回	消化器系統、腎・尿路系統	事前学習	逆流性食道炎、肝硬変、膠原病を教科書で調べて、ノートに記載しておく。

		事後学習	教科書の腎不全、排尿障害、尿路感染症、前立腺障害の要点をノートに各5行でまとめる。
第6回	骨、関節及び感覚器の疾患系統	事前学習	易骨折性について調べノートに記載しておく。
		事後学習	関節リウマチと変形性膝関節症の違いを、関節のイラストを加えて1200字にまとめて提出する。
第7回	感染症、神経疾患と難病	事前学習	感染症のうち、特に結核について、歴史的な発症経過を踏まえて調べ、発表する。
		事後学習	教科書の介護保険の特定疾病について、難病との関係についても言及して、まとめる。
第8回	先天性疾患、高齢者に多い疾患	事前学習	教科書の先天性疾患を一つノートにまとめておく。
		事後学習	高齢者に多い疾患の特徴を発表できる。
第9回	障害概要 1. 視覚・聴覚・平衡機能障害、肢体不自由障害 2. 内部・知的・発達障害	事前学習	障害と疾病の違いはあるか？ ノートに要点を書いておく。
		事後学習	知的障害と発達障害について、400字にまとめて提出する。
第10回	認知症、高次機能障害、精神障害	事前学習	認知症の人に会ったことがある人は、症状をノートにまとめておく。
		事後学習	教科書を読み、高次脳機能障害について5行以内にまとめておく。
第11回	リハビリテーションとは、対象の疾病と障害、担当専門職種	事前学習	リハビリテーションの対象となる疾病や障害をロールプレイで演じることが出来る様にしておく。
		事後学習	リハビリテーションにおける専門職やチームアプローチをノートにまとめる。
第12回	国際生活機能分類の考え方;環境因子と個人因子、健康とは? 日本人の健康、職業との関係	事前学習	教科書の国際生活機能分類の考え方をノートにまとめておく。
		事後学習	あなたにとっての健康の概念を400字にまとめて提出する。
第13回	ライフステージにおける心身の変化と健康問題	事前学習	心身の加齢・老化に係る教科書の各単元を再度読んでみる。
		事後学習	ライフステージ別の健康課題について考えてまとめてみる。
第14回	公衆衛生の概要と健康増進・保健医療対策	事前学習	教科書の第7章を読んで公衆衛生の考え方を理解する。
		事後学習	母子保健対策、成人保健対策、高齢者保健対策、精神保健対策、感染症対策について復習する。
第15回	総合まとめ	事前学習	学習用ノートを振り返り、これまでの学びと考察から期末試験用の予備問題を作成する。
		事後学習	期末試験の予備問題を解く。